ひばりが丘の街に和を描く
コミュニティメディア

A'ERU アエル

MACHINI-WA HIBARIGAOKA		vol. 17
2020	Spring	

その色はどこから生まれるのだろう
その形はどんな手で作られるのだろう

光に向かって背を伸ばし
水に向かって根を伸ばし
風に身をまかせて
ひそりと、はなやかに、
生きる

小さな虫の羽音が聞こえる
春の庭

日向には日向の
日蔭には日蔭の
物語がつむがれている

イベントレポート

年末おそば会
～１年の感謝をこめて～

まちにわひばりが丘の１年を締めくくるイベント「年末おそば会」が、2019 年 12 月 28 日に行われました。会場は「ひばりが丘ふれあいの里」に併設されたコミュニティカフェ「遊」。書家の神野奈津子さんに書いていただいた垂れ幕が目印です。
おそばを提供するのは「チームおそば会」。近隣住民の方、まちにわ師、インターン生、事務局スタッフ。20 代から 70 代までの様々な人の集まりです。
事前のミーティングを重ね、当日は全員で会場設営から、買出し、下ごしらえに当たります。
大量の調理を時間内に終えるのは結構大変。
毎年盛況で行列ができるので、今回は予約もできるようにしました。
そば屋さんのご主人役はまちにわ師の H 氏。特技はそば打ち。奥様のお手製エプロンで当日はそばの湯切りを担当します。厨房で頼りになる S さん。「洗い場は任せて」と宣言して黙々と働かれる M さん。おそば会がなかったら知りあう事もなかったメンバーが、大人の知恵と心遣いで見事なチームワークを発揮します。
お客様も様々。ご家族づれ、お仲間同士、お一人様、100 人を超える方に食べていただきました。大掃除の合間にちょっと息抜き。暫しお別れとなる仲間とのご挨拶。
買い物以外の楽しいお出かけ。皆さんの目的も様々です。
「美味しかったよ」と声をかけてくださる方も多く、メンバーは疲れも忘れます。

まちにわひばりが丘が活動を始めた 2015 年の年の瀬。住民の方がふともらされた「年末年始は仲間とも疎遠になりがち」という呟きから「年末おそば会」は生まれました。「みんなで年越しそばを食べよう」「地域の方に感謝の気持ちを伝えよう」という思いでスタートしたこのイベントは今回で５回目となりました。

会場のあちこちで「良い年をお迎えください」という声が聞かれます。
お世話になった行く年を思い、来る年への希望を互いに祈る笑顔が交わされます。
近くに暮らす人の繋がりを確かめるような年末の風景。
師走の凜とした空気の中、帰路につかれるお客様をお見送りする心は寒さを忘れさせるほど暖められていました。

編集後記

新型コロナウィルス感染症拡大防止に伴う、ひばりテラス 118 の臨時休業（AERU 本号執筆 2020 年 4 月時点）に対する皆さまのご理解、ご協力に感謝いたします。「まちにわ ひばりが丘」の目指すところは、「普段は楽しく、いざという時助け合える街」に必須となる「街区を越えた人のつながり」です。
様々な情報、気持ちが交錯する時こそ、「人のつながり」が大切です。それは、正しい情報共有による過度な行動の抑制、孤立しないことによる不安感の軽減、そして他者への気遣いにも繋がります。

「まちにわ ひばりが丘」の各スタッフは、今自分たちにできることを模索しています。私たちは、できることを少しずつでも行動に移すことが、今後のひばりが丘の「街づくり」「人のつながり作り」に繋がると信じています。

今しばらく厳しい日々が続くかもしれませんが、皆さんの笑顔と笑い声に溢れたひばりが丘は、必ず戻ってきます。
それまで、ひばりが丘の人たちのつながりに誇りを持ちながら行動していきましょう。

まちにわ ひばりが丘
事務局　岩穴口 康次

MACHINI-WA HIBARIGAOKA
発行元：一般社団法人まちにわ ひばりが丘
デザイン：浅見美沙（まちにわ師）
表　紙：佐藤郁（写真）
渡邊篤子（詩、まちにわ師）
イラスト：道草モデルズ
問合せ：info@machiniwa-hibari.org
ＷＥＢ：http://machiniwa-hibari.org
発行日：2020 年 5月 1 日

メールマガジン無料配信中！
ご登録はこちらから

「まちにわ ひばりが丘」の情報や、イベント情報などをお送りしています。左のＱＲコードから登録、または、件名を「メールマガジン登録希望」として info@machiniwa-hibari.org までご連絡ください。

ご予約・お問い合わせは
以下ご連絡先まで
Tel：042-452-5758
Mail：info@machiniwa-hibari.org

ひばりが丘周辺の歴史を探る
ÁERU HISTORY

花のある暮らしに寄り添う「風葉花」フラワーショップ

ひばりテラス118にひっそりと店を構える花屋さん「風葉花」。今年の4月で開店より2周年を迎えました。誰かのお庭に迷い込んだような、秘密の花園を歩いているような、不思議な空間が魅力の花屋さん。今回はその「風葉花」代表者竹下里枝さん、スタッフの八十住和子さん、桑名祥代さんにお話を伺いました。

竹下里枝さん

ここに植物があったら、笑顔の和が広がる。

ー街中ではなく住宅街で開業することに迷いはありませんでしたか？

竹下さん（以下 竹）ひばりテラス118に来たとき「ここに植物があったら素敵だな」、まるで啓示を受けたかのように感じたんです。

ーまちにわひばりが丘の基本の考え「街に和を描く」とも通じるお考えがあったのですか？

竹 駅近の、いろいろなお客様がいらっしゃる場所でお店を開いていた時期もありましたが、「花を売る」だけではなく「花を通じて人と人とのつながりを育てていきたい」という思いを持っていました。

ー風葉花という屋号は竹下さんがつけられたのですか？

竹 そうです。那須を訪れたときにたくさんのコスモスが咲いていて、花は可憐に風に揺れながらも茎は太く、大地にしっかり根を張っている姿に感動したんです。そして自分も「そうでありたい」と、そのときのイメージから「風葉花」という名前をつけました。

ーどのようなお店になさりたかったのですか？

竹 植物に興味を持って見てもらえるお店です。お花屋さんは買い物をしないでは出づらい、一輪では買いにくい、そんなイメージを変えたいと考えていました。ウッドデッキから建物の中に通り抜けられる造りにし、誰でも気軽に遊びに来て頂けて、そして「一輪からどうぞ」というメッセージを伝えることができれば、と思いました。

ーそういえば冷蔵庫がありませんね。

竹 冷蔵庫と外の温度差は花にとっては辛いものです。それに花を眺めながら触れていただけないので、はじめから冷蔵庫は置かないと決めていました。

桑名祥代さん

桑名さん（以下 桑）冷蔵庫に入ってしまうと「商品」という感じがして・・・。

ー品揃えにも、特徴がありますね。

八十住さん（以下 八）あまり鮮やかな赤、ピンクとかは少ないかも・・・。

竹 興味をそそる、個性的なものが多いかもしれません。可憐でも強さを感じさせるような。

自分のための一輪、あの人への花束。

ー花を一輪買うだけで、とても豊かな気持ちになりますね。

桑 お客様に花をお渡しするとき、いつも「ありがとう」という言葉や笑顔をいただき、「こんな幸せな仕事はないな」と思います。

八 「飾っている花がなくなると淋しくて」とおっしゃるお客様もいらっしゃいます。

竹 花には人を癒し、元気にする力があるんですね。

ー花を誰かに贈るのも、自分が貰うのも嬉しいからですね。

竹 オーダーのアレンジや花束をお作りするときは、真剣勝負です。贈る方、そして贈られる方のイメージを描きながら、お花に乗せて贈り手の思いが届けられようにお作りします。後日、お客様から花を受け取った方が、どんなに喜んでいたかというお話を伺うと、私たちもとても嬉しいですね。

ー2年間で印象に残っていることは？

桑 にわマルシェに出店したり、ガーデンウェディングの装花を担当したことかな。

八 季節ごとにイベントがあるので・・・。

竹 子どものお客様が来てくださることが増えました。「アジサイをください」と、お店に入ってくるお子さまもいらっしゃるんですよ。

ー花の親子レッスンの影響でしょうか？

桑 花の親子レッスンはお勧めです。みなさんに楽しんで頂けています。

竹 子どもには大人にない発想があるので、こちらが勉強になったりします。

ー花を生活の中に取り入れることに子どもの頃から親しめるのは羨ましいですね。

八 お店とコミュニティースペースが一緒にある、ここならではかもしれません。

膨らむ夢は。

竹 より多くの方々に「風葉花」のことを知っていただきたい。SNSも駆使して広報に力を入れていますが、アナログな方法でもお伝えしたい。

桑 ご来店が難しい方に「花の定期便」をお届けする、なんてやってみたいです。

八十住和子さん

竹 にわマルシェは外で出店するので「寄せ植えワークショップ」などができそうです。

ーいろいろアイディアが浮かんできますね。

八 妄想が広がっています。

竹 毎日忙しいスケジュールの合間に花を求めてくださるママさんや、奥様に照れながら花をプレゼントするパパさんたち、頑張っている皆さんの傍に寄り添う様な店でありたい、と思います。

ーそれこそが「すてきな花屋さん」ですね。まちにわひばりが丘の良いパートナーとしてこれからもよろしくお願いいたします。

インタビューを終えて

地上で最も強い有機体は「植物」と読んだことがあります。自分で動くことはできないけれど、環境に適応し、他の力を借りて種を保存し続ける植物の生命力。その魅力にどっぷりはまってる3人のお話は、瑞々しい気持ちにあふれていました。もうすぐ「母の日」。たくさんの花と笑顔が溢れる店内になることでしょう。

プロフィール

竹下 里枝さん（たけした さとえ）
優しさと逞しさを合わせ持つ植物に憧れ続けています。一男一女の子育て真っ最中。

八十住 和子（やそずみ かずこ）
西東京市柳沢に住んでいます。ガーデニングが大好きで、毎年オジギソウを育てています。

桑名 祥代（くわな さちよ）
谷戸幼稚園、谷戸２小、田無２中出身です。夫と社会人の娘と大学生の息子の４人家族です。

ÁERUライター　**渡邊 篤子** *Watanabe Atsuko*
まちにわ師 2 期生。ひばりが丘フィールズ 1 番街在住。音楽教室の講師のかたわら、生涯学習音楽指導員として地域での音楽普及の活動もしている。

ひばりが丘の街で人を訪ねる
ÁERU PEOPLE

イベントを通して地域に貢献できることが嬉しい

1月12日に開催した2020年最初のひばりが丘団地エリアの一大イベントである「新春もちつき大会」。マンション管理組合のコミュニティ担当理事として、リーダーという立場で関わった尾形英厚さんのレポートをお送りします。

私は、今回初めてリーダーという立場で関わりましたが、分からない事も多く、不安ながらも、地域の有志や団地自治会のみなさんなどの手厚いサポートもあって、楽しく運営できました。

当日は嬉しい事に予想を上回る方々に参加いただき、終盤にもち入り雑煮の提供が終わってしまいました（来年の課題とします！）。最終的には、運営のお手伝いとして参加して下さった方々も含めると約600名もの方にお越しいただき、一大イベントとなりました。

「新春もちつき大会」は元々ひばりが丘団地自治会の恒例行事であり、一度は休止していました。2017年から地域住民、団地自治会さんと協力しあい復活し、年々参加者も増えて、新しい形で恒例化してきています。ひばりが丘団地エリアの一住民として、こういったイベントを通じて、少なからず地域に貢献できた事を非常に嬉しく思います。

私は2019年4月から夏祭り、にわジャム、にわマルシェ、クリスマス会などの沢山のイベントに関わり始めました。活動を通じて感じるのはいつも皆さんが非常に協力的で楽しんでいる事です。そんな雰囲気が自然と溢れているので、私自身も積極的にイベントに参加する事ができます。

今は新型コロナウイルス感染症の影響で3月末に開催予定であった「さくら祭り」が中止になるなどの影響が出ていますが、また状況が落ち着いた時に思う存分地域で楽しめるイベントができればと切に願っています。

尾形英厚
フィールズけやき通り

ひばりテラスのマウンテンバイクで楽しむ サイクリングルート・南沢・中央町編

外あそびが気持ちいいこの季節。初夏の風を感じながら、街に点在するスポットを巡るには自転車がオススメ。ひばりテラスでレンタルできるマウンテンバイクに乗れば、新しい街の魅力を発見できるかも。

新型コロナウィルスの影響について
新型コロナウィルスの影響により、掲載している情報に変更がある可能性があります。お店の営業状況などは、適切な手段にてご確認頂けますようお願い申し上げます。

イラスト：道草モデルズ
（ひばりが丘団地エリア在住。本業の傍ら、テラスハウスをモチーフにした T シャツや缶バッチの制作などをプライベートで行っている）

① 南沢氷川神社

緑が目に優しい、心をリラックスさせてくれるスポット。 街の喧騒を離れ、気分もゆるりとしてきます。

南沢 3 - 5 - 8
042-471-1542

② 陶工房　忍冬窯

陶芸が楽しめる教室とアトリエ。明かりがついている日は、アトリエに作品を見ることもできます。まずは体験教室に参加してみては。

南沢 3 - 9 - 28
042-477-6645
体験教室 10:00〜11:30/14:00〜15:30 要問合せ

③ うつわ＆カフェ かくしち

サイクリング途中に一息つくならここ。店主が惚れ込んだ器に魅了されながら頂く ケーキとコーヒーは、みんなに自慢したくなる美味しさです。

中央町 2-1-34
042-476-8050
11:00 ～ 18:00
日曜 / 第 1 ・ 3 月曜

④ 紙と糸

ふたりのアーティストが作り出す雑貨が手に入るアトリエ。ふらっと立ち寄れば、かわいいアイテムが見つかるかも。北欧テキスタイル教室もあり。

中央町 1-1-46 B7
www.keitarosugihara.com
www.udutextil.com

⑤ パティスリーカフェ M.YASUHIKO

ドライフラワーで飾られた店内は、まるでおとぎの国。マカロンやメレンゲがドーム状に盛られたフルーツ グラタンはイチオシです。

本町 3-7-7
042-479-4499
10:00〜19:00
火曜日

ひばりテラスのシェアサイクル

ひばりテラスでは８台のマウンテンバイクを貸し出ししています。レンタルだから気軽にトライ！詳細は HP をチェック。

https://machiniwa-hibari.org/whatsnew/3672/

※ひばりテラス 118 は 5 月 31 日（日）まで休業しております。以降の営業につきましてはまちにわひばりが丘 HP でご確認ください。